毎年実施

特定の日に

一度、定期に

**我社の安全衛生点検表（全業種対象）**

社長・経営

首 脳 者 用

― 令和　　年度 ―

働く人の安全と健康を確保することは、経営者の最も重要な責務の1 つです。近年の急激な景気の後退で、安全衛生管理活動や災害防止に必要な経費が抑制されていないか懸念されるところです。

ついては、今まで培われた貴社の安全衛生管理水準が本年において維持されているかどうか点検し、景気回復が期待される新しい年に向け、その結果を踏まえ更なる安全衛生水準の向上につなげてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 点検年月日 | 年　　月　　日 | 点 検 者 | 社長・副社長・専務・常務・役員 |

点検項目（該当しない項目には、チェックする必要はありません。）

１ いわゆる「ＣＳＲ（企業の社会的責任）」等について

(１) ＣＳＲの一環として、労働災害防止についても説明できる □ はい □ いいえ

(２) 説明できるよう、労働災害対策部署が組織的に確立している □ はい □ いいえ

(３) ＣＳＲのため労働安全衛生マネジメントシステムを導入し実施している □ はい □ いいえ

(４) ＣＳＲのため、少なくともリスクアセスメントを導入し実施している □ はい □ いいえ

２　安全文化について

(１) 我社には、安全文化が根付いていると思う（取り組み中である） □ はい □ いいえ

３ 自社における安全衛生方針、取組等について

(１) 労働者の安全と健康の確保のため、自社安全衛生方針を策定し、社内に □ はい □ いいえ

表明している

(２) 表明は文書化し、社長室、講堂、会議室、食堂等に掲示している □ はい □ いいえ

(３) 年間安全衛生管理計画は、概ね計画どおり推進している □ はい □ いいえ

(４) 安全衛生確保対策のための予算・資金は、十分だと思っている □ はい □ いいえ

(５) この１年、安全衛生に関する予算を減らしていない □ はい □ いいえ

(６) この１年、安全衛生スタッフを減らしていない □ はい □ いいえ

(７) この１年、安全衛生に係る設備投資を減らしていない □ はい □ いいえ

(８) この１年、安全衛生に関する教育回数を減らしていない □ はい □ いいえ

(９) ＫＹ等の自主的安全衛生活動は活発に行っている □ はい □ いいえ

(10) 業務の閑散時を利用し、作業標準の見直し、４Ｓを実施した □ はい □ いいえ

４ 自社の労働災害発生状況等について

(１) 自社の労働災害発生状況については、概ね把握している □ はい □ いいえ

(２) 自社の度数率・強度率は、全国平均と比べどの位か概ね知っている □ はい □ いいえ

(３) 自社の安全衛生水準は昨年と比べ低下していない □ はい □ いいえ

･ご不明な点などについては、愛知労働局又はお近くの労働基準監督署にお問い合わせください。

･この様式は愛知労働局ホームページ（ http://www.aichi-rodo.go.jp/ ）にも掲載しています。

安全衛生点検表 愛知労働局 作成

≪参考様式≫

毎年実施、

随時に実施

**職場の安全衛生点検表**（ 建設業用）

みんなの

点検表

― 令和 年度 ―

**労働災害を発生させないため、この点検表を活用し、職場の安全衛生点検を実施しましょう。**

**この点検表は、過去の死傷災害を踏まえて、必要と考えられるチェック項目をピックアップしたものです。**

**点検により見つけられた問題点は、安全衛生確保のための改善を図って下さい。**

**なお、この点検表は労働基準監督署へ提出の必要はありません**。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 点検年月日 | 年　　月　　日 | 点検者　職・氏名 | 職名：  氏名： |

点検項目（該当しない項目には、チェックする必要はありません。）

１ 工事の計画段階における安全衛生の確保の状況

(1) 安全衛生管理計画を作成しているか □ 適 □ 否

(2) 仕事の工程・機械設備等について事前評価としての危険性又は有害性等 □ 適 □ 否

の調査（以下「ＲＡ」という。）及びその結果に基づく措置は適切か

(3) 店社内で事前評価体制の確立・計画届の参画者資質向上を図っているか □ 適 □ 否

２ 安全衛生管理体制等の状況

(1) 統括安全衛生責任者、元方安全衛生管理者、安全衛生責任者及び □ 適 □ 否

店社安全衛生管理者を選任し、責任と権限を明確化しているか

(2) 安全衛生協議会を設置・運営し作業間の連絡調整を行っているか □ 適 □ 否

(3) 元方事業者は関係請負人の法令違反を防止するための指導・援助をして □ 適 □ 否

いるか

(4) 安衛法施行令第6 条に定める作業には作業主任者を選任しているか □ 適 □ 否

(5) 関係請負人が行う新規入場者教育に対する資料や場所の提供など、教育 □ 適 □ 否

を行いやすい現場環境を整えているか

(6) 労働災害、事故、ヒヤリ・ハット事例が発生した場合、再発防止対策を □ 適 □ 否

講じるほか、ＲＡのための情報として蓄積しているか

３ 安全衛生教育等の実施状況

(1) 新規入場者の教育を実施しているか □ 適 □ 否

(2) 特別教育（安全衛生規則第36 条）の実施を確認しているか □ 適 □ 否

(3) 職長・安全衛生責任者教育を実施しているか □ 適 □ 否

４ 労働安全衛生マネジメントシステム（以下「ＯＳＨＭＳ」という）及びＲＡについて

(1) ＯＳＨＭＳに基づく現場における安全衛生方針は表明されているか □ 適 □ 否

(2) 労働安全衛生管理について、Ｐ→Ｄ→Ｃ→Ａサイクルを回しているか □ 適 □ 否

(3) ＲＡが適時に実施され、その結果に基づく措置による安全対策が図られ □ 適 □ 否

ているか

**「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」、「機械の包括的な安全基準に関する指針」、「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」等については、愛知労働局ホームページに掲載してありますので、ご利用下さい。**

５ 有資格作業従事者の状況（資格証を確認）

(1) 車両系建設機械 □ 適 □否 □該当なし (4) クレーン等 □適 □否 □該当なし

(2) 玉掛け □ 適 □否 □該当なし (5) 溶接（ガス、アーク） □適 □否 □該当なし

(3) 高所作業車 □ 適 □否 □該当なし (6) フォークリフト □適 □否 □該当なし

６ 安全衛生意識の高揚について

(1) 安全衛生旗等の掲揚、ポスター、標語等の掲示を行っているか □ 適 □ 否

(2) 安全施工サイクル活動（安全ミーティング、朝礼、ＫＹ活動等）を行って □ 適 □ 否

いるか

７ 墜落災害防止対策の状況

(1) 足場等高さ２ｍ以上の作業に安全な作業床を設置しているか □ 適 □ 否

(2) わく組足場以外の足場には高さ85 ㎝以上の手すり、及び高さ35 ㎝以上 □ 適 □ 否

50 ㎝以下の位置に中さん等が設置されているか

(3) わく組足場（妻面を除く）には、交さ筋かい及び高さ15 ㎝以上40 ㎝以下 □ 適 □ 否

の下さん等、若しくは手すりわくが設置されているか

(4) 開口部の墜落防護措置は適切になされているか □ 適 □ 否

(5) 高さ1.5ｍ以上の作業箇所への安全な昇降設備は設置されているか □ 適 □ 否

(6) 墜落の危険のある高所で作業を行う作業員に、安全帯を使用させているか □ 適 □ 否

８ 土砂崩壊災害防止対策の状況

(1) あらかじめ地質調査を実施し、ＲＡを実施し施工計画が樹立されているか □ 適 □ 否

(2) 掘削面は高さに応じた安全な勾配以下の傾斜にしているか □ 適 □ 否

(3) 作業開始時に、地山の点検を行っているか □ 適 □ 否

(4)（ 土止め先行工法により）土止め支保工を設置しているか □ 適 □ 否

９ 建設機械、クレーン災害防止対策の状況

(1) 作業計画を定め、関係労働者に周知しているか（作業変更時も必要） □ 適 □ 否

(2) 作業指揮者・誘導員等を配置しているか □ 適 □ 否

(3) 適切な合図を定め、合図を行っているか □ 適 □ 否

(4) 移動式クレーンのアウトリガーの張り出し・位置は適切か □ 適 □ 否

(5) 建設機械の危険な用途外使用を禁止しているか □ 適 □ 否

(6) 機械の始業前・月例点検を実施しているか □ 適 □ 否

(7) 建設機械は特定自主検査の実施日から1 年以内か □ 適 □ 否

１０ 電気災害防止対策の状況

(1) 電気設備の感電防止措置は講じられているか □ 適 □ 否

(2) 配線、分電盤の措置は適切か □ 適 □ 否

１１ 交通労働災害防止対策の状況

(1) 「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った取組みをしているか □ 適 □ 否

また、自動車運転中の携帯電話の使用を禁止しているか

(2) 過積載を容認していないか □ 適 □ 否

１２ 有害業務等の管理状況

(1) 粉じん障害防止対策は適正か □ 適 □ 否

(2) 石綿のばく露防止対策と飛散防止対策は適正か □ 適 □ 否

(3) 有機溶剤・硫化水素・一酸化炭素等化学物質や酸欠に対する対策は適正か □ 適 □ 否

(4) 新しい振動障害予防対策指針（21.7.10 制定）に沿った作業管理は適正か □ 適 □ 否

(5) 各種健康診断の実施と事後措置は適正か □ 適 □ 否

(6) 過去に石綿業務経歴のある者へ健康管理手帳制度の周知を図っているか □ 適 □ 否

(7) 快適職場づくりを行っているか □ 適 □ 否

(8) 保護具の管理と使用方法は適切か □ 適 □ 否

＊ 建設業等において、クレーン災害が多発しております。適切な作業計画を樹立して作業を行って下さい。

･ご不明な点などについては、愛知労働局又はお近くの労働基準監督署にお問い合わせください。

･この様式は愛知労働局ホームページ（ http://www.aichi-rodo.go.jp/ ）にも掲載しています。

安全衛生総点検用点検表 愛知労働局 作成